

數尾連續潮を噴往來いたし候を見請且父島東浦之海岸
落崩之場所銀色ニ類し候鑛石多く銅錫等可有之と被相察
其外鑛石脈相顯れ居候場所も多く有之候間其筋巧者之者
爲取調候ハ、金銀類も可有之濕地ニ者甘蔗芭蕉等も叢生
いたし山上ニ者棕櫚之種類多く其餘堅實之大木も相見へ
候得共是迄見分不仕奇草異木のみニ而此度召連候小野荅
庵ニも何分見分ヶ兼候趣ニ付是亦得と取調候ハ、良材も
可有之季候暖和ニ而冬分ニも雪霜等無之一体之地勢ハ岩
石山ニ而平地少く土質赤黒墳土相交沙地多ニ候間在島之
外國人ハ薩摩芋唐もろこし又タロと唱候一種之水芋等植
付夫食ニ充居米麥等者絶而無之候得共全植付出來不申候
地味とも不被存既に父島之内相撰ひ貳三百坪之場所立木

等切拂持越候種物蒔付候處何れも相應ニ成長いたし候義
ニ有之父島港灣内者浦賀下田港よりハ一倍之廣サ有之大
船碇泊差支無之場所ニ候間食料石炭等兼而御積廻し相成
渡來之外國船へ賣渡し將前書鯨獵船礦業をも相開き砂糖
相製し木材切出し候ハ、土地之潤澤者勿論一廉之御益ニ
も可相成と被存候就而者假御役所并役々住居向等者父島
之内洲崎村者廣場ニ而地勢も宜候間千秋丸等到着木材取
揃次第同所々爲取建將移民之義も出帆前相伺置候趣も有
之最初八丈島へ立寄同所より召連相越候積候處別紙御届
申上候通風様不宜同島に立寄兼候間小笠原島滯泊中咸臨
丸御船ニ而同島へ相越移住申諭引移方取計度候處御船持
越之石炭者初度之航海ニ而大方遣ひ切蒸氣相用ひ兼候上

者進退とも自由難相成候上蒸氣罐中ニも多分之損所出來
船身メリも相弛詮入多相成候ニ付暗礁多殊ニ赤道近ニ而
颶風起り易き海上同島々之往返者何分掛念之趣御軍艦方
より斷申立無據次第ニ付右者見合候得共千秋丸御船着島
相成石炭御貯多相成候ハ、私共歸府之砌同島々立寄移住
申諭方丈ハ取計且伊豆國附島々をも巡見可仕心得ニ而右
便宜相待居候内咸臨丸御船ニ而持越一候丈ニ而者食料追
拂底相成此上滯島仕兼候場合ニ相迫り不得止事支配向
別紙名面之者爲取締差殘一右千秋丸着島之上取計向等委
細申含出帆之積治定いゑ候へ共前書之通り石炭御貯無
之上者御船進退自在ニ参り兼候ニ付風様次第八丈島々立
寄移民申諭方者勿論伊豆國附島々をも巡見可仕見込を以

當三月九日同島出帆之處別紙申上候次第ニ而其儀も出來
難仕下田より陸路歸府仕候猶此上御開拓之御手續追々取
調御手後孔不相成様勘辨いゑ可申上候へ共彼地おゐて
取計候件々前文之通御座候依之取調候規則書港規則書并
持地繪圖請取其外書類相添此段申上候以上

戌三月

右建言中此地之景勢略々摘要シアルカ故稍其一斑ヲ知り
得ルニ足ルト雖モ猶ホ看ル者ヲシテ諸島之風土及ヒ外國
住民之内情ヲ詳悉セシメン爲メ煩冗ヲ厭ハス對話書ヲ盡
ク茲ニ附記ス

西十二月廿日於小笠原島

米人セイボレ 英人ジョーザホーツン 對話書

水野筑後守

服部 歸一

一 始而面會いゑい候其方共永年無事ニて相暮し居候段大慶ニ存候

一 難有奉存候

一 嘗島々者何十年程居住罷在候哉

一 三十二ヶ年程在留仕候

一 此度拙者共罷越候義を嘗島開拓之爲りニ有之併其方共退去等爲致候義ニ者無之候間安堵可致候

一 左候得者私共一同安心難有奉存候

一 右ニ付而者追々内地より農民共相移し候間末永く和合いゑい相暮候様致度候

一 夫レハ元より私共相願候義ニ御座候

當島之義西洋千八百二十七年英船渡來致し爾後英國之所領之積ニて右證書類于今存し居候義ニ有之右等御承知被爲在候哉

一 委細心得居候

此方ニ而者三百年前此島を見出し國人渡來いゑい神祠取立候義も有之右者其方共相心得居候哉

一 私共唯英國所領とのみ相心得罷在候得共左様之義ニ候ハ、強而申上候義ハ無御座候併私共渡來いたし候節ハ全くの無人疆ニ有之候

一此方ニ而者三百年前建物等致一小笠原島と名け二百年程相續居候得共酉年以來中絶いた候ニ付其方共渡來之砌者定而無人島ニ可有之依而其方共多年住居致一候上者其儘差置可申積ニ候

一私共一向心得不申候ニ付彼是申上候義を無御座候尤御國ニ而御見出一相成候所之義ハ記録上ニて一見仕候

一其方共開墾之土地者其儘差置以來尙開墾致一度地所等有之候ハ、此方聞濟之上差圖ニ任可申右厚く相心得可置候

一承知仕候以來日本之掟ニ隨ひ候義ニ候哉

一右者此方農民引移追而相定可申候

一當島之規則書等も御座候間入御覽可申哉

一夫者是迄移住致一居候其方共限申合ニ付此方ニ而相用候義ニ老無之候得共見合ニも可相成候間一應見置可申追而差出可申候

一承知仕候

一此品々ハ政府并拙者共より差遣候間遍く其方より配分可致候

此時酒壹樽吸物碗五十人前其外諸品差出

一難有頂戴仕候

一家鴨ハ當島ニ無之由ニ付二番ひせいボレハ遣一候間追

飼立蕃殖候様可致候

一難有奉存候

一以來其方差支之義有之候ハ、可申立且此度醫師も召連候
間病人も有之候ハ、可申聞候

一只今差當病人無御座有之節者相願可申候一入當年者
當地者寒き方ニ有之候

一當島者地震ハ如何ニ候哉

一大地震者無之候得共小地震者一ケ年兩三度位ハ有之
候

一津波者如何ニ候哉

一當年より七ケ年以前大津波有之其砌私所持之家五軒
程押流一剩伙具什器等失亡いた一候

一右者ホルトメン渡來後之事ニ候哉

一左様ニ御座候

一其節人々怪我ハ無之哉

一人も無異ニ有之候

一夫ハ何月比ニ候哉

一十二月廿九日之事ニ候

一此より南之方ニ當り我國母島と唱へ候島々ハ往返いた一
候哉

一數々往返仕候

一右島ハ人家何軒程有之候哉

一四軒有之候

一居民ハ何國之人種ニ候哉

一壹人ハ英人壹人者蘭人ニて米國ニ長く滯住仕候者其
余者カナカ人種ニ有之候

一 何様の船ニて往返いたし候哉

一 彼の小船よて渡り申候

此舟ハクノウウと唱ヘサンドイス島よて専ら相用ひ
右島ニてハワ―と唱候丸木ヲ繰抜候小舟あり

一 夫は至而急キ候事ニ候哉

一 尤日和見合航海致し四小時ニて到着仕候風様ニ寄候

而者六小時程相懸り申候港より港迄ハ十三里程有之

一 豚鶏等如何ニ候哉

一 此島よりハ一倍も多分ニ有之候

一 此島兩邊ハ附屬之二ツ之小島ハ人居無之哉

一 無之候

一 此二ツ之小島ニハ者鹿羊多分有之候

一 右島ハ者折く参り候哉

一 魚類も多分居候間漁獵之爲渡申候若御船ニて魚多分

御入用之節ハ右島ニて漁し差上可申候

一 木材ハ如何ニ候哉

一 右ハ此島同様ニて奥山ニハ可也大木も有之候

一 此度野菜種物多分持越候間可差遣存候骨折種附候様可致候

一 當島ニ而者種物等種くほしく存居候得共何分難得候

處御持越被下候段難有奉存候且兔角菜類種取れ兼當

惑仕候

右畢而退散

西十二月廿二日於洲崎村

英人ウヰエフに對話

一應挨拶畢而

一其方儀當島ニ至リ何ヶ年相成候哉

一英國千八百四十七年米國船號シヤツパンと申鯨獵船

ニて當島に参リ病氣ニ而懇請いたし相殘申候

一當島人家何軒ニて人員何程ニ候哉

一家ハ三軒ニ而内壹軒ハ補理中ニ有之家内之外英人壹

人ト一マスシメスと申者同居罷在右ハ當七月此島に

参リ申候同人義ハ英國軍艦之水夫ニ有之候處鯨獵船

ワイルと申船ニ乗組罷越是亦病氣にて止島仕候

一夫ハ右船主其外へ申立之上居住致し候哉

一私義ハ船主デヨウシレツレルロウイントと申者に申

立暇を乞ひ止島仕候ト一マスも同様船主承知之上相

止り申候

一此邊ニ畑ハ其方開墾之上所有ニいたし候哉

一此邊ハ英國リチャタメトングと申者之畑ニ候處同人

義ハ當時ヲスルン島に罷越在仕居候由ニ御座候

一其方并ト一マス兩人共當島ニ永久住居致し度候哉又ハ本

國に便船等有之候ハ、歸國致し候哉

一私義ハ當島ニ終生住居仕度相願居候ト一マス義ハ素

より永住ハ相願不申病氣快後ハ御國地成共便船次第

罷越度様相願居候同人職業ハ工匠ニ有之候

一工匠ニ候得者當島ニ役所其外取立候節爲手傳候様可致候

一萬一御用辨ニも相成候ハ、難有仕合奉存候
一今般日本政府并拙者共より島民惣体ハ差遣候品有之已ニ
首長セイボレハ相渡置候其段聞及候哉

一ヶ月程已前よりセイボレハ面會不仕候間右等之
義未タ承り不申候得共仰の如クニ候得者難有奉感謝
候

此間建物借受候談判有之

一此老婦ハ誰之妻ニ候哉

一英人ロフシント申者之妻ニ候處同人義ハ南島ハ罷越
候積ニテ出船仕其後歸島不仕候

一此少婦ハ如何成者ニ候哉

一是ハ右老婦之娘ニ而外ニ弟も有之候處ロフシン歸島

不仕候ニ付右娘ハ私之妻ニ仕居候
右ニ而畢ル

酉十二月廿三日小笠原島奥村ニおゐて

島民セイボレシヨシウエフ應接對話書

一應挨拶畢而

一此程借家之事申談候處此方所望之通行届都合宜敷且船買
上方相調至極便利相成候

一二艘御買上相成難有奉存候

一尙賣拂候船有之候哉

一只今者無之候得共追々出來可申候

一差向入用無之候間出來次第模様ニ寄買入可申候

一修復船壹艘三四日中ニ出來候間御入用候ハ、差上可
申候

一新調之方買上度候

一新調之方ハ南島ニ行通ニ致シ且龜を取候ニ入用御座
候間何分難差上候

一如何致シ候而龜を取候哉

一浮出候節鉤ニ而引懸け取申候

一何處ニ多く集り候哉

一多分ハ港外ニ有之候一ツ龜を取候得者衆龜逃去申候
間定シ場所者無之候尤西洋四月比ニハ陸ニ参り卵を
産み候間多分ニ取れ申候

一四季共ニ取れ候哉

一當月より西洋八月比迄ハ取れ申候

一食を與ヘ飼置候哉

一殺シ候而牛豚の如く鹽漬ニ致シ又ハ水有之場所ニ生
置申候肉ハ牛豚の如く厚味ニ有之油も随分用ニ相成
申候

一燈油ニ相用候哉

一格別烟りも立不申透明ニ御座候

一右油を鯨獵船等ニ賣捌候哉

一懇望いたシ候得者賣渡候得共多分自家の用ニ供シ候
義ニ御座候

一ドルラルニ何程ニ候哉

一西洋三斗ふて三ドルラルニ有之候

一此程政府より被下候品、并拙者共より差遣候物配分之節ハ支配向之者立合之義相願候趣未九割付不致候哉

一御受取申上候儘ニ御座候

一速ニ配分可致候

一只今配分可致候間御見分可被下候

一島民惣人數何程ニ候哉

一三十九人御座候尤兩三日日前出生致候者も有之候

セイボレ配下共十人 男二人 女三人 男子二人 女子三人

シヨ―シ配下共十一人 男四人 女三人 男子三人 女子一人

ウエブ配下共七人 男二人 女二人 男子二人 女子一人

カレン夫婦二人

ブラボ―家内五人 男三人 女二人

ペバン男二人

右之外英人壹人カナカ壹人右ハ當島ニ永住仕候者

ニ無御座候

一姓名者何と申候哉

一英人者ト―マシシメサカナカ人者チャンと相呼申候

一セイボレハ小兒何人ニ候哉

一四人有之其餘者配下之者小兒ニ有之候

一ウエブハ何人有之候哉

一壹人有之候

一男ニ候哉女ニ候哉

一未九懐胎中ふて相分兼候

一兩三日以前出生いた―候ハ何者之子ニ候哉

一ゲレと申者ニ有之候

一當島ふて頭立候者何人有之候哉

一セイボレシヨシウエフ之三人ニ御座候

此時被下物夫々配分致也

一種々被下物難有頂戴仕候

一セイボレ之兒共多ニも有之候義ニ付當島ニ永住致度本望

ニ候哉又は便船等有之候ハ、歸國致度心願ニ候哉

一終生當島ニ住居仕度最モ期望仕候處ニ御座候

一シヨシヲ單身之事ニも有之候間如何ニ候哉

一獨身ニ候得共同居致居候者ハ英人ふて至極親切ニ世
話致吳候間セイボレ同様永住仕度尤只今者無妻ニ候
得共不遠妻貰受候間其節者分居可仕心得ニ御座候

一英人之姓名者何と申者ニ候哉

一ウリヨムゲレと相唱申候同人父英人ニ而其身ハ當島

ニて出生仕候

一同人父之何と申候哉

一矢張ウリヨムゲレと相唱申候

一ウエフも同様永住相願候哉

一元より永く住居仕度懇願ニ御座候

一此程もセイボレに申談候通右様之心底ニ候ハ、永く安堵
せしめ且是迄開き候土地之無年貢ニて作附差許し是より
可切開場所ハ自儘ふ切開候事難相成尤切開度場所所有之候
ハ、此方役人之差圖を受け然して後取懸り可申候
一承知仕候

一昨日迄所々其方共切開候場所一ト通り見分致置候得共尙
 念の爲支配向差遣一見分可爲致候間夫々標木立置候様可
 致且切開候地所盡くセイボレ所持ト申候ニも有之間敷候
 間銘々切開所持致居候姓名札記置可申候
 一當村内セイボレ住居之場所セイボレ一人ニ而切開候哉又
 者他人も加り切起一候哉
 一盡くセイボレ切起申候尤カナカ人一人有之候得共相
 雇切開らせ候事ニ御座候
 一ジョーシ住居ヨシ一候本村之方者如何ニ候哉
 一私井ウリヨムゲレ兩人ふて所持致一居候
 一其他者無之哉
 一ウリヨムゲレ之父新開相始夫より引續同人其勞を繼

當時ニ而者私と共ニ所持仕其他所持仕候者ハ無之候
 一ウエフ之方者如何ニ候哉

一當時ギアムと申島ニ住居致居候ウリヨムメルチ
 ヤンプと申者切開申候最初同人當島ニ罷在候節私罷
 越加入仕只今ニ而者右場所私預り差配致居候

一材木之義老山々より伐出候心得ニも可有之候得共只今迄
 切開候畑地ハ植付候分ハ格別其餘の山木ハ此方へ不申立
 候半而者伐木難相成尤薪ハ勝手次第之事

一家作ニ用候丈ハ切取申度候
 一銘々住家之用便丈ケハ爲伐可申候乍然其節々申立差圖受
 候上可取計候

一承知仕候其節ニ可申立候

一山も所持致し居候

一山く者自然之生木有之右と勝手ニ伐取我物と取極候事ハ
難相成候

一村方前面之木者私共植付候物ニ御座候

一銘く植付候分ハ勝手ニ伐取不苦候得共其餘者難相成候間
左様可心得候

一承知仕候

一山くニ住居候獸類ハ恣ニ獵取候事難相成候

一私共相放し候鳥獸者不苦事と存候

一何を相放し候哉

一北の島 スマタツペン
アイランド 口羊綿羊鹿 バック 島ニハ豚羊此島
口ハ牛豚羊を放置申候

一左様ニ候共自家ニ於而生育之分ハ勝手次第たるべく候得
共此方ニ而者先年右等之獸類相放候義も有之且仮令其方
共相放候ニも致せ生育致し候ニ者何等之物と食し候而生
育致し候哉則此島天然生之草木を食し生育致候事ニ而則
日本の草木を食し生育致し候ニ者無之哉其邊如何相心得
候哉

一日本より相放候義も可有之候得共私共最初罷越候節
者更ニ獸類者見受不申私共相放候より生育致候様被
存候

一左様ニも可有之候得共草木無之候而者生育難致此島者日
本ニ而三百年以前見出し屬島ニ致し候事ニ有之候
一元より草木無之候而者獸類相放不申候

一日本屬島ニ生レ候草木を喰ヒ生育致候獸類自儘ニ獵取候事ハ難相成候

一左様ニ候而者私所持致候物を御取上被成候と同様ニ御座候

一初め此島ニ放候迎其方ニ而勝手ニ獵取候者たトヘバ人ノ家ニ食客致レ居衣食共ニ其恩ヲ預リ居候而此家者我有ニ有之候ト申聞候と同様ニ候其方ニ而放候迎勝手ニ獵取候得者此方ニ而も此方之草木を食レ生育致候故勝手ニ獵取可申左候而者暫時ニ其種を失ヒ相放候詮更ニ無之様存候
一自分者食料丈ケニ獵取候事ニ而賣捌候心得ニも無之
右之食料無之候而者今日ノ生活ニ差支申候
一食料ニ致候丈ケハ可差許候

一右之獸類を獵取當港々入來候鯨獵船等ハ賣渡候事ハ更ニ無之既ニ他ノ鯨獵船等罷越候節忒ニ上陸遊獵致候ニ付其種を失ヒ候半ト深く心配致居候程ノ事ニ御座候

一此方ニ而も種を絶候事を深く憂トモるより食料ニ致候外獵取候事無之様申談候事ニ而以後他國ノ船々ニハ遊獵不爲致様可取計候

一是迄獸類獵取交易品ニ致候事更ニ無之只ク當島ノ食料ニのみ相供申候

一日本より再ハ當島開墾之爲め御越相成候半トハ更ニ不存寄義ニ御座候獸類右様蕃殖致居候者日本ノ御爲ニも相成候義ト被存候

一右之趣其方共配下之人民に委細可觸渡候

一委細承知仕候間無洩可申通候

一若他國之鯨獵船等渡來獵取候事有之候ハ、早速此方役人
に告知可致候

一速ふ相告可申候

一既ニセイボレ老先年賊災ニ罹リ候趣相聞候

一左様ニ御座候千八百四十九年ニ賊災ニ罹リ所持之物
品盡く被奪去候其數大凡四千ドル程ニ有之候

一右之趣も聞及居候間此後者此方ニ而如何様ふも手を盡し
右等之害無之様取計可遣間若此島ニ居候者惡事致し候ハ
速ニ可申出候

一右様御取計被下候得者誠ニ欣ぶるき之事ニ而右様之

節者日本役人之助力ニ預リ可申且此島に役人被差置
法則御立置相成候事元より懇願之至り御座候

一法則取調居候間治定次第差示可申候此後者万事扶助いた
し安穩ニ土着せしむべき間其邊者配慮不可致候

一法則御取極相成候ハ、違犯仕間敷尤拜見之上申上候
義も可有之候

一申立候廉有之候ハ、一應承り候上其次第ニ而勘辨を加へ
候義も可有之候

一私共亂妨相働不申候ハ、日本政府ニて不惡様御取扱
有之候事と奉存候

一元より之事ニ候

一右之趣此席ニ居合候者ハ承知ニも可有之候得共其余ブラ

ポカレン等口者銘くより告知らすへく候

一 承知仕候

一 仮令其身死し候後其子幼弱ニ候共日本政府ふて世話いたし跡目相續爲致候間其邊者心安く可存居候

一 私共兼て左様心掛居候處何分當島ニハ左様之事無之

平生憂悶致居候處日本政府ニて厚く御世話被成下候

旨承知仕何寄難有奉存候私ニ於て實ニ老後之所望安

穩是ニ過候事無御座候

一 シヨシを妻子も無之候得者老後ニ至り候而も厚く扶持を差加へ可申候

一 難有奉存候單身ニハ候得共老後之事ハ盡くウリヨム

グレふ相頼置候

一 追々國地より人民相移醫師其外ニ至るまで盡く當島よて相辨し候様可取計候

一 誠ニ御厚志之段奉多謝候既ニセイボレを小兒三人失

ひ申候

一 セイボレ其外之者共病氣等ニて當島に相殘候事よて本國政府之命を受け罷越候者ニハ無之義と被存候

一 セイボレ米國コモドルベルリより國旗相預り所持

罷在候

一 其事も承知罷在候最初當島に罷越候ニハ漂着いたし候哉又ハ此邊に罷越し見出し候て殘泊候哉

一 最初サントイス島より仕出申候其船を英國コンシユ

ル米國商人一同組合船よ有之候

一當島を直指差向候哉

一左様ニ御座候

一英國のコンシユル姓名を何と申候哉

一チャルタンと申候

一米國商人を何と申候哉

一トムシと相唱申候

一其頃何人ふて罷越候哉

一惣計二十二人有之候

一盡く三乙島人ニ候哉

一仲之通りニ候

一セイボレを同島ニ住居致し居候哉

一三乙島より交易船仕出し島々行通ひ致し居候

一ブラボ―は何頃より移住候哉

一千八百三十二年より移住仕候

一英人ニ候哉

一葡萄牙人ニ御座候

一カレンを何國之人ふて何頃より移住候哉

一英人にてブラボ―一同ふて罷越候

一ペパンを如何ニ候哉

一千八百四十五年カナカテハイテ島より罷越十七年ニ

相成申候

一前條申聞候件々下ニ至ル迄相違無之様可申達候

一奉承知候

一英人ト―マシ私義工匠ニ有之候間御取建物等有之候

ハ、御遣被下度右代リニ御國迄御連れ越被下候ハ、
右之趣御國在留之英國公使又ハコンシユール之内へ
申立御世話相懸申間敷候間御聞届被下度奉願候
一何れニも當港出帆迄ニ取調置可及挨拶只今即答難相成候
一難有奉存候當七月蘭船ニ乗組當島ニ罷越候得共望郷
之念甚敷一日も早く歸國仕度候
一大工を職といた候趣此方ニ而も幸ひ用事も有之候間可
相頼候

一木を挽割候職ニ御座候食事丈被下候ハ、十分相働可
申候自身ニ而働人之世話ニ不相成様仕度存居候
一右之邊相察候間相遣ひ候事ニ候何を食料と致し候哉
一國地之品相好候得共日本人ニ被遣候儀候得者御國之

食物頂戴仕可申候

一米を食し候哉

一相用ひ申候

一芋類相用ひ候儀ニ候ハ、此方ニ而其用意可致候

一代料被下置候ハ、島民より自分相好候品物買受可申
候

一夫ハ容易之事ニて此方之手數も相省候

一セイボレ葱種を頂戴仕度植付相試ニ可申候

一穿鑿以多し可差遣候

一米を少く頂戴仕度候

一何程入用ニ候哉且詩付候爲ニ候哉

一三斗程頂戴仕度食用ニ仕候價之何程ニ候哉

一 差出ニ不及候

一 シヨージも同様相願度候

一 可差遣候

一 明日頂戴相成候哉

一 明日午後飯御役所ニ罷出受取可申候

右ニ而畢ル

西十二月廿七日小笠原島奥村ニおかてセーボレノ對話書

一 其許之合衆國民之由承り及候何之部内出生ふて何地より當島に移住候哉

一 マツサツセツツ部内フヲツプアータ出生ニ而三乙島より英國コンシユールチャルタン米國商人トムシム

同船ニて仲間申合凡二十二人當島ニ移住仕候内五人者歐羅巴人種ニ有之候尤其後三ヶ年程三乙島ニ行通交易仕候得共其後中絶仕候

一 右二十二人當時之如何致居候哉

一 内一人者リチャルドフランチヤンと申候者港右手ノ村方切開候處其後當時同所罷在候ウエブ渡來以ぬ其仲間ニ入本人者十年前アメリカ鯨獵船イーエルベチセ子に乘組立去ギーアム島ニ轉任仕候一人者デチマルカ之者チャルスデヨンミン十二年
前英國鯨獵船ニ乘組本島立去一人者イタリヤ人コリンセラ千八百四十五年死去一人ハ米人オールテンヒ
チヤピン五十一年本島ニて病死仕候外カナカ人種十七人内

リージャシ島人男女二人男之方ハ則當時私方同居罷
在候 ジャツコマリージャレニて女之方ハ病死仕候三
乙島人十五人男六人女八人何れも鯨獵船便ニて追々
島出仕當時ハンヤと申候者當地ニ住居仕居一人者
アマムに相越其地ニ而病死仕候

一此村方ハ悉く其許切開候哉

一私壹人ニ而切開申候

一當年何歳ニ罷成候哉

一六十六歳ニ相成申候

一妻ハ何と申幾歳ニ相成候哉

一メリヤと申候者當年三十二歳ニ御座候

一何地之出生ニ候哉

一イスパニヤ領ラトローチン島之内キユアハ島出生
ニ而千八百四十四年六月渡來致候一体私同居ニ
而最初當地に罷越候セラ之妻ニ相成居候處千八百四
十六年右夫病死其後私妻と相成申候
一右妻渡來之節ハ何國の船ニて相越候哉
一英國鯨獵船アレフランセスふ乗組アマメルチャン
と申夫婦之者同船ニ而相越住居仕候
一子供ハ何人有之候哉

一女子兩人男子兩人第一女アキ子シホアパレセナボレ
九歳第二男ホーレンスヘレンスセーボレ七歳第三女エ
ンセイレセイボレ五歳第四男ロバタセイボレ二歳ニ
相成申候